

津田校区だより

発行所

津田校区

コミュニティ協議会

福祉委員会

広報部



みんなでつくる

安心の「つだ」

津田校区コミュニティ協議会 会長 長村 幹夫

校区の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のことと存じます。日頃は、本協議会の各種団体に対しまして、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

津田校区の各所に「のほり旗」を設けています。その中に「みんなでつくる安心の街」というキャッチフレーズの旗があります。私は、その言葉が好きです。なぜかという、地域活動のすべてがその言葉に集約されていると思うからです。ライフスタイルの変化や価値観の多様化、少子高齢化の影響などにより、地域にもさまざまな課題があります。こんな時代だからこそ、みなで力を合わせて安心の「つだ」をつくっていきましょう。さあ、みんなでつくる安心の「つだ」!!

地震や台風といった大規模災害発生時には、迅速な救助活動や避難所運営を行うために、隣近所との信頼関係（共助）が大きな力となります。防災・子ども安全対策・防犯・交通・青少年健全育成・スポーツ振興・子育て支援などの地域の様々な活動を通じて、地域の交流や連帯

感の向上を図ることが必要です。自分ひとりの力は小さいけれど地域活動に参加することは自分や家族の命を守ることにつながります。さまざまな活動を通じて顔の見える信頼関係を築いて行きましょう。

さて、民生委員・児童委員及び主任児童委員の3年に一度の一斉改選が昨年12月に行われました。民生委員・児童委員は、地域住民からの相談を受け、安否確認や見守り等の支援を行い、必要であれば福祉制度や子育て支援サービスを受けられるように、情報提供や関係機関に連絡するなど大切な役割を果たしています。本校区においては欠員があり、今後とも委員を増やす必要があります。校区の皆様のご協力をお願い申し上げます。

校区の皆様におかれましては、ご健康に留意され益々のご活躍をお祈り申し上げますとともに、今後も本協議会の活動に對しまして、ご厚情とご鞭撻並びにご理解ご協力を頂きますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



校区福祉の街づくりを

進めていきます

津田校区福祉委員会 会長 平尾 賢二

令和6年に確定した「校区福祉の街づくり5ヶ年計画」3年目に入りました。計画では、「校区福祉委員会が目指すもの」として①変化していく福祉のあり方を追求していく ②安心して集まれる居場所づくりを行う ③高齢者が自立できるように援助していく、の3本を目標として設定しています。

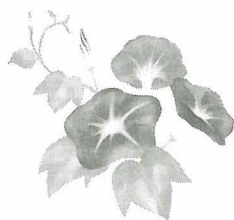
①については、「ほっこり新聞」で、地域の福祉活動や催しなどの様子をお知らせし、小学校・中学校・高等学校・介護施設等との連携を取り、「春祭り作品展」などへの参加をいただいています。

②については、昨年、府営住宅集会所で「ほっこりクラブ大峰」を継続開催ができるようになり、より近くで高齢者が健康保持を図れる機会を持つようになりました。

③については、「健康マージャン」「編み物の会」「趣味の小物づくり」など自主的に活動していただいています。

本年度は、昨年度実施しました「寺子屋」を場所・回数・内容について学校と相談の上学校教育を支援する形で実施したいと考えています。また、福祉に関する研修を地域として実施することにし、「川村義肢工場の見学」を計画し実施予定です。（人数に制限があるため地域全体にはお知らせしていません）

その他、福寿会、東福寿会と連携をとり、行事の実施や生活課題に対応できることを身近なところで実施できるようにしたり、福祉についての問題を共に考え話し合ったりする機会を作りたいと考えています。今一度、あなたの身の回りで「こうなれば良いなあ」ということはないか考えてみてください。ご意見をお待ちしています。



自主防災会

5月23日に『防災研修会』を開催!!



津田校区の防災体制向上と災害時の対応力強化を目的に、津田会館において防災研修会を開催しました。研修会には、校区コミュニティ協議会の役員や各団体代表者をはじめ、津田区、大峰区、野村中・北町自治会、津田第二住宅自治会、宮山町会、香陵園住宅自治会の役員や防災委員など総勢59名が参加しました。第1部では、市の担当

者を講師に迎え、枚方市の防災について講演が行われました。大規模な災害時において、市や消防・警察などの行政機関はすぐに駆け付けける事は困難であり、「阪神大震災の際に倒壊家屋から誰に救助されたか?」の回答では、①自力②家族③友人/隣人がそれぞれ3割ずつ(合わせて9割以上)で、友人/隣人/地域コミュニティの助け合いは非常に

重要である、とのお話でした。

第2部では、本年1月に策定した津田校区避難所運営マニュアルについて説明が行われ、避難所は地域住民や避難者が主体的に運営していく事や、運営組織として下記表の通りの班を設けて活動していく事など、避難所の開設手順や運営体制、各担当者の具体的な行動などが説明されました。

今後も安全・安心なまちづくりに向けた取り組みを進めますので、各ご家庭でも、日頃から災害に備えていただくとともに、地域の活動や防災訓練

練などに積極的にご参加ご協力くださいますようお願いいたします。



「笑顔あふれる津田小学校」

枚方市立津田小学校

教頭 森 徹朗

この四月より、津田小学校に教頭として赴任して参りました、森 徹朗と申します。よろしくお願いたします。

今年度、本校では「笑顔あふれる津田小学校」を目標に、子どもたち一

人ひとりが安心して学び、自分らしさを発揮できる環境づくりに努めております。しかしそれは、「学校」だけでは叶わないと思っております。地域の温かい見守りの中でこそ、子どもたちは育ち、

成長していくと感じております。

特に、毎日登下校中での見守り、そしてお声かけをいただいていること、「津田小保護者会おひさま」での交流、そしてクリーン津田大作戦では多くの保護者の方、地域の方にご参加いただけたことで、子どもと皆様との交流が子どもたちの笑顔を支え、大きな力になっていると確

信し、感謝しております。

地域の方、保護者の方に見守られ、安心して過ごすことのできる日々の積み重ねの中で生まれる子どもたちの笑顔が、学校の外にも広がり「笑顔あふれる地域」へとつながっていくことを願っております。

これから、地域の皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

【避難所における各活動班の主な役割】

※津田校区避難所運営マニュアルから抜粋

班名	主な業務内容
①総務班	委員会の事務局、避難所の管理など
②避難者管理班	避難者名簿の作成・管理、安否確認等問い合わせへの対応、居住組への連絡調整など
③情報広報班	情報収集、情報発信、避難所内の情報伝達など
④施設管理班	避難所の安全確認と危険箇所への対応、防火・防犯など
⑤食料班	食料の管理・配給、炊き出しなど
⑥物資班	食料・物資の調達、物資の管理・配布など
⑦救出救援班	避難所外での安否確認、救援活動など
⑧避難所救護班	避難所内での救護活動、介護活動（要配慮者への支援）など
⑨衛生班	避難所衛生環境（トイレ、ごみ、風呂、掃除、衛生管理等）の管理など
⑩ボランティア班	ボランティアの受入れ・管理など
⑪その他必要な班	避難所の状況に応じて必要な班を設置する

ふれあいいきいきサロン

(津田校区福祉委員会開催)

日時:2026(令和8)年6月16日(火)12時~14時 参加者:67名 スタッフ:12名
場所:津田生涯学習市民センター4階ホール 演者:福島はじめ氏

梅雨空の蒸し暑い中、受付前からお越し頂き、多数のご参加ありがとうございました。

津田校区福祉委員会会長の挨拶から始まり会食となりました。向かい合わせの6人テーブル状態でしたので、和やかな話し声も聞こえていました。

食後、休憩を取り、12時45分頃から、歌手デビュー30周年(5月22日)を迎えられた「福島はじめ」氏の演歌・歌謡曲の熱演が行なわれました。

福島さんは、『南相馬市ふるさと大使』として活躍されている方で、さらびやかな衣装を身に付けて、三味線片手に、50代初めの油の乗り切った貫禄と、プロとしての気迫を合わせ持って登壇されました。

会場の参加者は、割れんばかりの拍手で出迎えました。

歌われた曲目の中には、故郷を思わせてくれる歌・元気の出る歌・浪曲混じりの歌・手拍子しやすい歌・しっとりさせる歌・一緒に口ずさむ歌・参加者の希望される歌などがあり、楽しいコメントを入れながら選曲して、心を込めて歌ってくださいました。

途中、テーブル(11ヶ所)を回りながら、スタッフにも1人ずつ丁寧に笑顔でやさしく握手をしてくださいました。

最後は、福島県への復興の思いが込められた持ち歌をご披露された後、アンコールの声や盛大な拍手に応えられ、再会の意を込められた明るい歌を熱唱され、最高の盛り上がりとなりました。

参加された方々も、最後まで熱心に聞き入り、とても満足された様子でした。



献血受付数 15名
採血数合計 12名(400ml 11名、200ml 1名)

ご夫婦で献血、17歳で献血、昨年に続いてされたフイジー出身の方など、昨年よりは少なかったですが、「献血は身近な人助け」をしていただきました。

今年の献血は、6月13日(土)10時~12時までの2時間で実施させていただきました。少し風のある暑い日でした。昨年と同じくポスターを掲示するなど平和堂さんのご協力をいただきました。

献血
ありがとうございました



令和8年度活動計画

月	校区コミュニティ協議会	校区福祉委員会
4	役員会(合同) 春の全国交通安全運動	役員会(合同) 春の全国交通安全運動
5	総防災研修会	総会
6	クリーン津田大作戦協力 役員会(合同) 青少年部会	クリーン津田大作戦協力 役員会(合同) 青少年部会 ふれあいいきいきサロン
7	役員会(合同) 校区だより発行 元気づくり地域づくり会議 夏休み一斉パトロール	役員会(合同) 校区だより発行 元気づくり地域づくり会議 管外研修 子育てサロン 夏休み一斉パトロール 津田寺子屋
8	役員会(合同) 夏休み一斉パトロール	役員会(合同) 津田寺子屋 夏休み一斉パトロール
9	秋の全国交通安全運動	秋の全国交通安全運動 ふれあいいきいきサロン
10	役員会(合同) 青少年部会 秋まつりパトロール 津田ふれあいフェスティバル	子育てサロン 青少年部会 秋まつりパトロール
11	ミニ運動会 津田小防災教育の実施 元気づくり地域づくり会議	ミニ運動会 ふれあいいきいきサロン 元気づくり地域づくり会議
12	役員会(合同) スマイル津田 冬休み一斉パトロール	役員会(合同) スマイル津田 冬休み一斉パトロール
1	新年合同会議(幹事会) 役員会	新年合同会議(幹事会) ふれあいいきいきサロン 福祉サロン
2	役員会(合同) 自主防災訓練 校区だより発行	役員会(合同) 子育てサロン 校区だより発行 春まつり作品展
3	役員会(合同) グラウンドゴルフ 津田ふれあいフェスティバル 春休み一斉パトロール 青少年部会	春まつり作品展 グラウンドゴルフ ふれあいいきいきサロン 春休み一斉パトロール 青少年部会



令和8年3月14日(土)開催

津田小校区
グラウンドゴルフ

令和8年3月14日(土)、津田小学校グラウンドにて、津田小校区グラウンドゴルフを開催しました。

グラウンドゴルフは、年齢や体力に関係なく楽しめる生涯スポーツとして親しまれています。ルールが分かりやすく、誰でも気軽に参加できることから、健康づくりはもちろん、世代を超えた交流を深める機会にもなっています。地域の皆さんが楽しく身体を動かしながら親睦を深めることを目的として実施しました。

当日は、日頃からスタツ

フとして運営を支えてくださっている方にもプレーヤーとして参加していただきました。これまでグラウンドゴルフは運営のみで、実際にプレーしたことがなかった方もおられました。思った以上に楽しい」との感想をいただき、グラウンドゴルフの魅力を感じていただく良い機会となりました。

今回のように初めて参加された方にも楽しんでいただけたことは、大変うれしい出来事でした。改めて、地域コミュニティの活性化や健康づくりに、生涯スポー

ツが果たす役割の大きさを実感しました。

今後も、より多くの皆さんにグラウンドゴルフの楽しさを知っていただき、気軽に参加していただけるよう活動を続けていきたいと思っています。



編集後記

津田小学校校区の高齢化率は、令和5年と比べてみると、0.4%上がっている。長生きできている人が増えてきているということか▼0歳から5歳で見ると、0.1%上がっている▼津田地域に住居を求める人が多くなっている、と思われる。地域に住まわれる人にとっても「安心・笑顔あふれる暮らし」が実感できるようにしていきたい▼行事や活動に、お力を貸していただけませんか。

津田校区の人口・世帯数・高齢化率(65歳以上/人口)

(令和8年6月1日現在)

・男性 5,488人 ・女性 5,589人 計 11,077人

・世帯数 5,602世帯

・高齢化率 29.8% 市全体 29.3%

65歳以上 男性 1,466人 女性 1,839人

計 3,305人